

デザ研 公開活動報告会開催 - 2008年度第1回研究室会議 -

text_kakibaya

4月16日の今年度第1回研究室会議では、学部生や外部生、新M1を対象とした活動報告を行いました。初の試みとなった公開活動報告会は、デザ研の多岐にわたる活動を発信・共有するだけでなく、今後の研究・活動において「何を求めたいのか」を1人1人が考えるための、重要なヒントを与えたのではないのでしょうか。

program

- 1) 西村先生より新年度ご挨拶
- 2) 窪田先生自己紹介ミニレクチャー
- 3) 公開活動報告会

都市デザイン研究室紹介[D2 鈴木]

全国各地でのまちづくりの支援/実践

- 喜多方 [M2 平岡]
- 八尾 [M2 ナッタポン]
- 鞆の浦 [M2 北村]
- 高山 [M2 大道]
- 浅草 [空間研M2 佐藤]

柏の葉(UDCK)を拠点とした活動

[空間研M2 佐古、柏原、長澤、上田]

- UDCY、京浜 [M2 山田、野原助教]

景観計画の立案

- 新宿 [M2 鈴木]

都市空間の構想力の読み解き

- 「都市空間の構想力」[D3 中島]

コンペへの参加[M2 鎌形]

ワークショップへの参加[M2 大道]

研究室マガジンの発行[M2 蛭灰谷]

4) 新入生自己紹介



▲西村先生のご挨拶では「住んでる人が、このまちに住んで良かった」と思えるようなまちをつくるために 専門家として関わっていく姿勢を大切に。」とお話をいただく。「今年は季刊まちづくりの連載を元に、1つの本をつくる。新しい考えを外に向かって打ち出していく大事な年になる。」



◀窪田先生からはご自身が望ましいと考える都市空間をキーワードに自己紹介ミニレクチャー。公共空間の中の自由空間のもたらす役割や魅力について。



▲144教室に入りきらないほどの聴講者が。皆真剣に耳を傾けています。



◀M2を中心に昨年度の活動報告発表。発表者たちにとっても、これまでの振り返りと今後の活動を考える良い機会となった。

▶デザ研、空間研のM1と新研究生が自己紹介。スタートしたばかりの研究室生活に思いをはせる。



▼恒例の集合写真撮影は、すっかり日も暮れたので教室にて。



4時間近くにわたった研究室会議の後は、歓迎コンパが開かれました!

春の高山祭、山王祭を堪能

M2 大道亮

4月14～15日の日程で春の高山祭、山王祭に行ってきました。今回は高山Pメンバーに加え、M1, 2数名も観光で高山を訪れ、行動を共にしました。

山王祭では国の重要有形民俗文化財である荘厳な屋台が12台姿を現します。前日には12の屋台の一つ、三番叟(さんばそう)の屋台蔵近辺で火事があり、どうなることかと心配しましたが、屋台は屋台蔵にしっかりと守られ、祭は滞りなく開催されました。

屋台が整列する「曳き揃え」、3台の屋台がからくり人形を操る「からくり奉納」、袴を纏った人々が練り歩く「御巡幸」などコンテンツ満載の祭でしたが、なんといっても一番の見所は夜祭。提灯で彩られた屋台が、落ち着いた古い街並みの中を通り抜けてゆく様子には高山の粋が詰まっていた。

山車が出るという点では八尾の曳山祭と同じですが、屋台のつくりも祭の雰囲気もやはり別物。見比べてみるのも面白いかもしれません。



(上) 三番叟のからくり奉納/ (右) 屋台の曳き揃え。手前は恵比須台/ (下) 古い街並みを曳行される龍神台



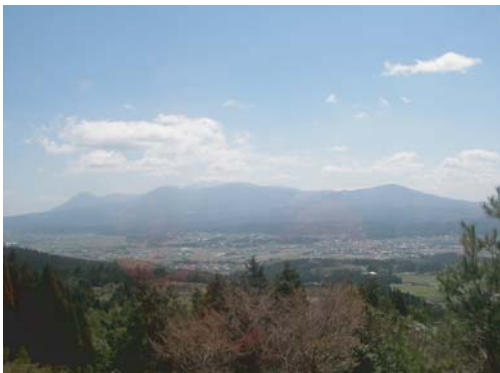
text_fujii

修士1年の6名、親睦会も兼ねて、高山祭りを満喫してきました！屋台、からくり人形、祭りの舞台でもある伝建地区のきれいな町並み、さらには、重要文化財の吉島家を見たことは、大変貴重な経験となりました。しかし、なんと言っても印象に残ったのは、飛騨牛の旨味！旨味！UMAMI!です。野原先生！M1一同、感謝しております！



新連載『私の好きな風景(仮)』 ～日本三大車窓「矢岳越え」～

M2 北村修一



熊本・宮崎・鹿児島にまたがるJR肥薩線。道中には、日本三大車窓の一つ、「矢岳越え」があり、雄大な霧島連山と眼下に広がる農村を眺めることができます。

その景色もさることながら、この路線には様々な魅力が凝縮されています。まずはここを走る観光列車「いさぶろう・しんべい」。レトロ調の車両が特徴のこの列車、名前の由来はそれぞれ、山縣伊三郎(当時通信大臣)、後藤新平(当時鉄道院総裁)で、非常に難工事であったトンネルの入口に彼らの揮毫が残っています。この観光列車ではそのトンネルの解説や、風景の良い場所で一時停止してくれるなどのイベントもあり、おすすめです。

さらに沿線の駅は築100年の木造駅舎が今も使われており、沿線の13施設が、経産省認定「近代化産業遺産群」(2007年)に指定されています。沿線では駅弁の販売など、活性化のため取り組みが行われているところも。少し遠いですが、のどかな風景と明治・大正期の遺産を見る旅に出かけてみてはいかがでしょうか？

新宿区景観ガイドブック 発刊

全10地区のうち6地区が東大(デザ研)担当編集で完成しました。1冊500円で発売されます。



01 四谷地区

02 筆筈地区



03 榎地区

07 落合第一地区



08 落合第二地区

09 柏木地区

ごあいさつ

マガジン編集部、3名のM1新編集員が加わりました。まずは意気込みを一言ずつ！
 ■藤井 高広 (写真左)
 研究室の活動を楽しく伝えていきたいと思います。
 ■中島 和也 (中央)
 マガジン編集を通して研究室の人と仲良くなりたいです。
 ■菊地原 徹郎 (右)
 研究室のアットホームな雰囲気を伝えられるように頑張ります！



text_kakibaya

そして私M2の蛸灰谷が今月より編集長となりました。酒井初代編集長から数えて、4代目のようです。どうぞよろしくお願いたします。

今年度の3大方針は、1: 研究室の活動を隅々まで、2: 報告+告知、3: 記事の充実化です。記事内容が偏りがちになっていた昨年の反省を踏まえ、今年は研究室の全員の方に執筆をお願いしようと思っています。どうぞご協力ください。また、報告だけでなく、研究室の活動予定など、先の情報も発信していきます。新連載はいかがでしたか？(ステキなタイトルを募集中です！)好きな風景、気になる都市について想いを語りたい！という方はぜひお声をおかけください。(“車窓”縛りではないのでご心配なく。)

創刊3周年を迎えた都市デザイン研マガジンは、これからもますますの発展を目指して編集部一同、がんばります。

5月9日には、景観シンポジウム「新宿発 景観を守り育てる方法」が開催されます。(詳しくは研究室HPをご覧ください。)